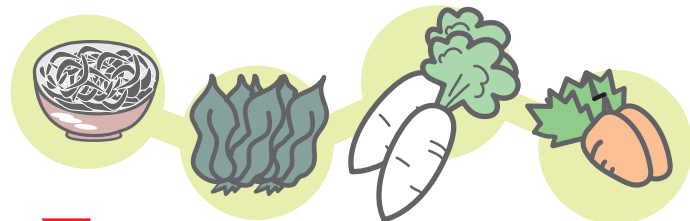


# 子どもの 腹痛の原因は？

●当直日誌を見ていると、腹痛で多くの子どもが救急外来を受診しています。お腹が張っているとき、繰り返す嘔吐があるとき、血便を認めるときは緊急性が高いです。小学生以上の年齢の子どもでは、右下腹部に引きつるような痛みがあるときも要注意です。

●それでは救急外来を受診する子どもの腹痛の原因の一番は何でしょう。多くは浣腸をすると腹痛はよくなります。車でゆられて来る間に腹痛がなくなる子どももいます。このような経過でよくなる腹痛の原因は便秘です。夜間腹痛が強くなるのは、ガスが大腸の湾曲部に集まって腸管を進展させるためです。腹痛時には、お腹を「の」の字を書くようにマッサージすることを勧めています。なお、便秘の子どもが下痢になると、先に便が詰まっているため強い腹痛を訴えます。

●夜間に腹痛で医療機関を受診しないために、日頃から子どもの便通をみていてください。便秘の治療には食事療法と薬物療法があります。食事療法では、にんじんや大根などの根菜類もいいですが、ひじきなどの海藻類を食べることが勧められています。習慣性便秘では食事療法だけでは不十分で、長い期間



の薬物療法が必要です。シンラック®を使い、朝から排便をするという排便習慣を身につけさせることも大切です。早起きして朝ごはんを食べ、朝トイレに行く習慣を身につけさせてください。便秘にならないためには、規則正しい食事、特に朝ごはんを食べることと、適度な運動が大切です。

●小学校高学年以上の子どもで、便秘や下痢を繰り返しながら腹痛を訴える場合は過敏性腸症候群(IBS)を疑います。ストレスのために腸管が過敏に反応し、腸管運動の異常がおこります。定期試験が近づくと症状が重くなる子もいます。女性では立ちくらみなどの起立性調節障害を伴うことが多いです。子どもに自信と安心感を与え、早起きと朝食を食べる習慣を身につけさせてください。コロネル®などの薬物療法が必要な場合もあります。

●長距離を走っている途中にお腹が痛くなるのも、腸管のガスが大腸の湾曲部に集まるからです。日頃から便習慣に気を配ってください。

便秘で困っている方は、外来で声をかけてください。  
(院長 小児科 庵原俊昭)

募集しています

## ① 看護師

▶ お気軽に 三重病院看護部長室 今井可奈子 までご連絡ください

看護師の仕事をやめてからしばらく経つので心配...と思ってみえる方、大丈夫です。看護技術が不安な方には、トレーニングをしていただく準備もできております。赤ちゃんからお年寄り、身体の不自由な方、どなたにもやさしい三重病院です。私たちといっしょに看護を試してみませんか?相談・見学随時お受けいたします。

## ② 薬剤師

非常勤の薬剤師業務

▶ ②のお問い合わせは 三重病院 管理課 北山までご連絡ください

